



2020年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年9月12日

上場会社名 株式会社トーエル 上場取引所 東
 コード番号 3361 URL https://www.toell.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 孝治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 管理本部長 (氏名) 澤山 英夫 (TEL) 045-592-7777
 四半期報告書提出予定日 2019年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期第1四半期の連結業績(2019年5月1日~2019年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第1四半期	5,462	△0.8	184	△39.0	192	△43.9	107	△49.2
2019年4月期第1四半期	5,504	6.3	303	△37.9	342	△38.3	211	△42.7

(注) 包括利益 2020年4月期第1四半期 52百万円(△69.9%) 2019年4月期第1四半期 175百万円(△54.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第1四半期	5.44	—
2019年4月期第1四半期	10.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年4月期第1四半期	24,449	15,397	62.9
2019年4月期	25,473	15,642	61.4

(参考) 自己資本 2020年4月期第1四半期 15,387百万円 2019年4月期 15,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年4月期	—	—	—	—	—
2020年4月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年4月期の連結業績予想(2019年5月1日~2020年4月30日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,100	3.5	380	△9.9	430	△11.5	250	△17.3	12.63
通期	24,760	4.4	1,650	1.4	1,760	0.4	1,100	△3.0	55.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年4月期1Q	20,415,040株	2019年4月期	20,415,040株
2020年4月期1Q	624,795株	2019年4月期	624,795株
2020年4月期1Q	19,790,245株	2019年4月期1Q	19,894,750株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（四半期連結損益計算書）	
（第1四半期連結累計期間）	6
（四半期連結包括利益計算書）	
（第1四半期連結累計期間）	7
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第一四半期連結累計期間における国内経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの緩やかに回復しています。一方、通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響や中国経済の減速懸念など不透明な状況が続きました。このような環境の下、当社は2022年度末に向けた中期経営計画に基づき、第57期事業計画をスタートさせました。エネルギー事業においては、引き続き公正な判断に基づく適正価格をホームページに掲載し、お客さまのご理解を得ながら利益確保に努める一方で、総合エネルギー事業者として事業基盤の確立を着実に進めております。ウォーター事業においては、ハワイ州Nimitz Factory（ハワイ第2工場）の安定稼働と共に、拡大するウォーター需要への備えとして、大町第4工場の早期竣工を目指して準備を進めております。また、高品質な天然の原水をコンセプトとした自社ブランドをより一層浸透させる為の差別化戦略に尽力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計年度の売上高は5,462百万円（前年同四半期比0.8%減）、営業利益は184百万円（前年同四半期比39.0%減）、経常利益は192百万円（前年同四半期比43.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は107百万円（前年同四半期比49.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次の通りです。

① エネルギー事業

前年より低い気温が続いたことからガス需要は伸びたものの、LPガス輸入価格が安値で推移したこと等により販売価格が下落したため、前年同四半期比減収となりました。LPガス小売業界におけるお客さまの争奪合戦は激しさを増している状況ですが、当社はこの過当競争を乗り越えるため、独自の物流システムによるコスト削減と自社配送の利点を生かした対面チャネル強化等により事業基盤の拡大に努めております。更に新設の厚木バルク工場の本格稼働に伴い、自社物件は勿論のこと関東一円のバルク交換を受注することで、配送の合理化に資する体制を確立しました。また、電力、都市ガスを含めたエネルギー自由化競争に対しては、あらゆるお客さまのニーズに応える供給体制を整えるため、既存の「ガス」、「ウォーター」というライフライン領域に「TOELLでんき」「TOELL光LINE」を加え4事業をセットにした「TOELLライフラインパッケージ」を提案することで、既存のお客さまの取引拡大と新規のお客さまの開拓に努めました。

この結果、売上高は3,829百万円（前年同四半期比2.0%減）、管理部門経費配賦前のセグメント利益は460百万円（前年同四半期比8.4%減）となりました。

② ウォーター事業

前年より低い気温が続いたことからボトル販売本数（12L換算）は前年同四半期比2.0%減となりましたが、ウォーター関連売上が伸び前年同四半期比増収となりました。ボトルウォーター市場は、より美味しい水を嗜好するお客さまの増加や首都圏を中心としたオフィスビル、マンションの高層化に伴う宅配サービスのニーズ増加により年々拡大しております。一方、人手不足による物流コストの上昇が社会問題化する中、当社では自社配送によるコスト削減とサービス向上に努め、対面チャネルを強化・多様化することでお客さまの開拓に努めました。具体的には多種多様な広告媒体の活用、インターネットによる受注の他、TOELLライフラインパッケージの拡販強化により新規のお客さまの開拓に尽力してきました。差別化戦略として、高品質な天然の原水をブランドコンセプトとしたピュアウォーターの「アルピナ」「Pure Hawaiian」、北アルプスの天然水そのものをボトリングした「信濃湧水」、3つのブランドをリターンブル、ワンウェイ2種類のボトルを取り揃えることで様々なお客さまのニーズに対応していきます。「高濃度水素水サーバー」を利用したいいつでもできたの水素水は、水素溶存濃度4.1ppmを誇る看板商品であり、この高い競争力を生かしボトルウォーター業界のみならず異業種分野への開拓も進めてまいります。海外展開については既存の輸出国に続いてインドネシア、フィリピン等、東南アジアへの輸出を進めます。一方、大町第4工場建設に向けた準備やNimitz Factory（ハワイ第2工場）の減価償却費、人件費等の販管費が増加しております。

この結果、売上高は1,633百万円（前年同四半期比2.3%増）、管理部門経費配賦前のセグメント利益は216百万円（前年同四半期比26.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態につきましては、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,023百万円減少し、24,449百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が620百万円、受取手形及び売掛金が641百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ779百万円減少し、9,051百万円となりました。この主な要因は、買掛金が472百万円、未払法人税等が189百万円減少したこと等によるものであります。

また、自己資本比率は62.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年4月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では、2019年6月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、気候変動やC P 価格及び円／ドル為替の動向などの不確定な要素があり、今後業績予想に関しては修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,337,831	4,717,282
受取手形及び売掛金	3,128,156	2,486,904
商品及び製品	1,044,795	991,495
仕掛品	16,188	10,781
貯蔵品	340,966	332,482
その他	293,037	271,883
貸倒引当金	△108,237	△104,929
流動資産合計	10,052,737	8,705,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,610,379	3,421,257
機械装置及び運搬具（純額）	1,495,428	2,338,233
土地	5,499,431	5,588,032
リース資産（純額）	1,871,688	1,738,199
その他（純額）	1,956,259	753,608
有形固定資産合計	13,433,186	13,839,331
無形固定資産		
営業権	246,795	224,616
その他	130,697	123,997
無形固定資産合計	377,492	348,613
投資その他の資産		
その他	1,753,600	1,700,616
貸倒引当金	△143,963	△145,294
投資その他の資産合計	1,609,636	1,555,321
固定資産合計	15,420,316	15,743,266
資産合計	25,473,054	24,449,167

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,712,344	1,239,652
短期借入金	530,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	384,801	349,824
未払法人税等	256,007	66,557
賞与引当金	194,415	94,482
役員賞与引当金	52,500	15,000
その他	2,655,892	2,525,846
流動負債合計	5,785,961	5,191,362
固定負債		
長期借入金	1,169,878	1,104,880
役員退職慰労引当金	873,551	881,744
退職給付に係る負債	620,977	627,255
その他	1,380,514	1,246,365
固定負債合計	4,044,921	3,860,244
負債合計	9,830,883	9,051,607
純資産の部		
株主資本		
資本金	767,152	767,152
資本剰余金	1,492,427	1,492,427
利益剰余金	13,573,548	13,384,347
自己株式	△546,341	△546,341
株主資本合計	15,286,785	15,097,585
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	260,737	243,474
為替換算調整勘定	83,314	45,945
退職給付に係る調整累計額	147	40
その他の包括利益累計額合計	344,200	289,460
非支配株主持分	11,185	10,514
純資産合計	15,642,171	15,397,560
負債純資産合計	25,473,054	24,449,167

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日)
売上高	5,504,606	5,462,424
売上原価	3,042,177	2,972,768
売上総利益	2,462,428	2,489,656
販売費及び一般管理費	2,159,204	2,304,699
営業利益	303,224	184,957
営業外収益		
受取利息	261	1,142
受取配当金	7,065	7,202
賃貸収入	7,232	8,523
スクラップ売却収入	20,025	15,443
為替差益	11,418	—
その他	18,090	25,474
営業外収益合計	64,092	57,786
営業外費用		
支払利息	15,720	12,691
為替差損	—	29,282
賃貸費用	5,894	5,731
その他	2,885	2,625
営業外費用合計	24,500	50,330
経常利益	342,817	192,412
特別利益		
固定資産売却益	1,758	887
特別利益合計	1,758	887
特別損失		
固定資産除却損	153	142
ゴルフ会員権売却損	—	400
特別損失合計	153	542
税金等調整前四半期純利益	344,422	192,757
法人税、住民税及び事業税	86,882	54,352
法人税等調整額	45,335	31,045
法人税等合計	132,218	85,398
四半期純利益	212,204	107,359
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	384	△293
親会社株主に帰属する四半期純利益	211,820	107,652

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日)
四半期純利益	212,204	107,359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,683	△17,262
為替換算調整勘定	5,981	△37,369
退職給付に係る調整額	—	△107
その他の包括利益合計	△36,702	△54,739
四半期包括利益	175,501	52,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,057	53,290
非支配株主に係る四半期包括利益	444	△670

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エネルギー 事業	ウォーター 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,908,730	1,595,875	5,504,606	—	5,504,606
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,528	—	22,528	(22,528)	—
計	3,931,259	1,595,875	5,527,135	(22,528)	5,504,606
セグメント利益	502,211	294,259	796,471	(493,246)	303,224

(注) 1. セグメント利益の調整額△493,246千円には、セグメント間取引消去△22,528千円と全社費用△470,717千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エネルギー 事業	ウォーター 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,829,408	1,633,016	5,462,424	—	5,462,424
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,829,408	1,633,016	5,462,424	—	5,462,424
セグメント利益	460,138	216,531	676,669	(491,712)	184,957

(注) 1. セグメント利益の調整額△491,712千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。